

# 文学研究科 日本文学専攻 [博士後期課程]

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
<p>文学研究科博士後期課程では、学部および修士課程で学んだ日本文学、日本文化に関する基礎的な知識の上に、さらに専門的で高度な知識を学ぶとともに、主体的な研究調査、発表、討論によって、さらに広い視野に立った学識を有する専門的な研究者を育成するための科目を設置している。複数の教員の指導を受けてこれらの科目を学び、所定の単位を取得し、研究成果を関連する学会などで十分に検証した上で博士論文を提出し、一定の水準に達していると認められた者に、博士の学位を授与する。</p> <p>◆日本文学専攻 [博士後期課程]</p> <p>日本文学専攻博士後期課程では、所定の修了要件と以下の要件を満たした者に博士（文学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1.日本文学や伝統文化に関するより専門的な学識と深い理解をもち、高い研究能力と表現力を有して日本文学・文化の発展に寄与する専門的な研究者あるいは学識を活かした職業人としての研究能力を身につけていること。</li><li>2.日本文学や伝統文化に関する高度な専門性を発揮できる能力を獲得し、古代から現代までの各専門領域における文献的な諸問題や文化思想の在り方を明らかにし、日本文学・文化研究の発展と深化に寄与できる能力を身につけていること。</li><li>3.所定の単位を修得するとともに、学位論文を提出して論文審査（博士）に合格すること。</li></ol>	<p>文学研究科（博士後期課程）では、古代から近現代までの日本文学と、さまざまな領域の日本文化についての広い知識を学び、各自の専門領域の研究を深めることで、より高度な専門性を有する人材を育てることを目的にしたカリキュラムを編成している。</p> <p>日本文学専攻博士後期課程では、古典文学および近現代文学に関する専門研究が学べる講座と日本文化における様々な研究成果が学べる講座、および博士論文に到るまでの研究の深化を求める特殊研究の講座を用意し、広い視野を持って自己の専門分野の研究を深めることができるよう以下のようにカリキュラムを編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1.選択できる講座として「近現代文学研究 1」「近現代文学研究 2」「古典文学研究」を置き、日本文学に関するより専門的な知識と学説を学ぶとともに、文学研究とは何かということを深く学ぶ。</li><li>2.多様な領域を専門とする複数の専任教員によるオムニバス形式の「日本文化研究」を設置し、さまざまな時代のさまざまな日本文化を深く学ぶ。</li><li>3.「博士論文演習1～3」によって、学位論文の提出に到るまでの研究方法と研究姿勢を身につける。</li></ol>